

財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

- (1) 固定資産の減価償却の方法
有形固定資産及び無形固定資産・・・定額法による減価償却を行っている。
- (2) 引当金計算基準
退職給付引当金…職員の退職給付の支給に備えるため、期末自己都合要支給額に相当する金額を計上している。
- (3) 消費税等の会計処理
消費税等の会計処理は、税込方式によっている。

2. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位:円)

科目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
定期預金 (基本財産)	241,200,000	0	0	241,200,000
小計	241,200,000	0	0	241,200,000
特定資産				
特定費用準備資金(特)	800,000	200,000	0	1,000,000
退職給付引当資産	77,298,486	4,662,700	0	81,961,186
小計	78,098,486	4,862,700	0	82,961,186
合計	319,298,486	4,862,700	0	324,161,186

3. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位:円)

科目	当期末残高	(うち指定正味財産 からの充当額)	(うち一般正味財産か らの充当額)	(うち負債に対応す る額)
基本財産				
定期預金 (基本財産)	241,200,000	—	(241,200,000)	—
小計	241,200,000	—	(241,200,000)	—
特定資産				
特定費用準備資金(特)	1,000,000	—	(1,000,000)	—
退職給付引当資産	81,961,186	—	—	(81,961,186)
小計	82,961,186	—	(1,000,000)	(81,961,186)
合計	324,161,186	—	(242,200,000)	(81,961,186)

4. 担保に供している資産

該当なし

5. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

(単位:円)

科目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
その他固定資産			
建物	2,230,356	1,873,451	356,905
建物附属設備	126,000	125,999	1
什器備品	7,038,715	6,935,522	103,193
館蔵美術品	14,075,000	0	14,075,000
小計	23,470,071	8,934,972	14,535,099
合計	23,470,071	8,934,972	14,535,099

6. 債権の債権金額、貸倒引当金の当期末残高及び当該債権の当期末残高

債権の債権金額、貸倒引当金の当期末残高及び当該債権の当期末残高は、次のとおりである。

(単位:円)

科目	債権金額	貸倒引当金の当期末残高	債権の当期末残高
未収金	15,845,887	0	15,845,887
立替金	62,000	0	62,000
合計	15,907,887	0	15,907,887

7. 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高

補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高は、次のとおりである。

なお、地方公共団体補助金(出雲市)は、決算後に交付額が確定するため返還予定額を期末残高に記載した。(単位:円)

補助金等の名称	交付者	前期末 残高	当期 増加額	当期 減少額	当期末 残高	貸借対照表上 の記載区分
補助金						
国庫補助金	文化庁長官	0	9,290,000	9,290,000	0	—
地方公共団体補助金	出雲市	0	21,000,000	20,670,000	330,000	一般正味財産
助成金						
出雲市文化協会助成金	一般社団法人出雲市文化協会	0	100,000	100,000	0	—
日本芸術文化振興基金助成金	(独)日本芸術文化振興会	0	1,713,000	1,713,000	0	—
合計		0	32,103,000	31,773,000	330,000	